



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月13日

上場会社名 株式会社 大泉製作所
 コード番号 6618 URL <http://www.ohizumi-mfg.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
 (氏名) 後藤 英恒
 (氏名) 山崎 成樹
 TEL 04-2953-9212

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	6,317	3.0	401	21.5	475	76.4	325	54.9
30年3月期第2四半期	6,130	1.2	330	6.3	269	128.7	210	209.9

(注)包括利益 31年3月期第2四半期 278百万円 (△1.9%) 30年3月期第2四半期 283百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	38.95	38.76
30年3月期第2四半期	25.15	25.07

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	8,526	2,077	24.1	245.77
30年3月期	8,585	1,793	20.7	212.53

(参考)自己資本 31年3月期第2四半期 2,056百万円 30年3月期 1,778百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,428	0.3	722	4.0	728	60.2	459	37.3	54.92

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	8,367,468 株	30年3月期	8,367,468 株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	178 株	30年3月期	178 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	8,367,290 株	30年3月期2Q	8,367,290 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追記情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（以下、当四半期）における経済情勢は、海外では米国を発端とした貿易摩擦の激化や、中国での成長の鈍化傾向が続いており、今後の世界経済に対する懸念材料となっております。

国内では相次ぐ自然災害や海外情勢の不確実性が経済に与える影響がみられたものの、好調な企業収益を背景に設備投資の増加、雇用・所得環境の改善が継続しており、景気の回復基調が持続しました。

このような環境の下、当四半期における当社グループの売上高は、自動車部品事業分野では既存品の需要増に加え、引き続き電動化の動きが加速する中で二次電池向け部品の売上が増加したこと、空調・カスタム部品事業分野では日系空調メーカーの東南アジア地区での増産等により、6,317百万円（前年同期比3.0%増）となりました。損益面では、営業利益は401百万円（前年同期比21.5%増）、経常利益は475百万円（前年同期比76.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は325百万円（前年同期比54.9%増）と増益となりました。

当四半期は、中期事業計画を着実かつスピード感を持って進められるよう、中国、東南アジア、欧州地区における販路開拓と拡販活動を展開し、結実した案件を取りこぼしなく収穫するだけでなく、シェア拡大にも注力してまいりました。自動車部品事業分野では引き続き電動化領域の新規案件引合いや採用決定も増加しており、空調・カスタム部品事業分野においても引き続き日系空調メーカーの受注が増加する見込みです。増産に向け、競争力のあるグローバル供給体制強化の一環として、十和田工場敷地内に新工場建設を着手しております。また、高付加価値製品の原価低減と生産体制強化、管理業務の効率化と経費削減に努力を重ねるとともに、それらを支える人材育成にも積極的に取り組んでまいりました。

営業外損益面では、ドル高により為替差益が発生、また昨年度実施したリファイナンスにより支払利息が前年同期比で21百万円減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は8,526百万円（前連結会計年度末比59百万円の減少、同0.7%減）となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

負債につきましては6,448百万円（前連結会計年度末比343百万円の減少、同5.1%減）となりました。これは主に借入金などの減少によるものであります。

なお、親会社株主に帰属する四半期純利益を325百万円の計上したこと等により、純資産は2,077百万円（前連結会計年度末比284百万円の増加、同15.9%増）となりました。また、自己資本比率は24.1%（前連結会計年度末比3.4%増）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より308百万円減少し、892百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、385百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益478百万円、減価償却費163百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、479百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出178百万円、及び定期預金の純増加額333百万円等による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、201百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少額75百万円及び長期借入金の返済による支出100百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想の修正については、本日（平成30年11月13日）に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,267,113	1,287,549
受取手形及び売掛金(純額)	2,603,336	2,430,154
商品及び製品	661,073	748,090
仕掛品	720,798	683,172
原材料及び貯蔵品	584,404	670,242
その他	110,128	108,017
流動資産合計	5,946,853	5,927,227
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	941,728	854,107
その他(純額)	1,290,100	1,378,130
有形固定資産合計	2,231,828	2,232,238
無形固定資産	37,945	37,388
投資その他の資産	369,086	329,516
固定資産合計	2,638,860	2,599,143
資産合計	8,585,714	8,526,370
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	862,643	795,381
短期借入金	269,000	197,500
1年内返済予定の長期借入金	442,001	449,119
未払法人税等	140,637	171,284
その他	1,384,312	1,230,383
流動負債合計	3,098,595	2,843,669
固定負債		
長期借入金	2,900,000	2,800,000
退職給付に係る負債	693,342	703,177
資産除去債務	24,758	27,126
その他	75,670	74,707
固定負債合計	3,693,771	3,605,012
負債合計	6,792,367	6,448,681
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,039,484	1,039,484
資本剰余金	509,910	509,910
利益剰余金	△152,285	173,583
自己株式	△73	△73
株主資本合計	1,397,035	1,722,904
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,834	—
為替換算調整勘定	467,256	426,299
退職給付に係る調整累計額	△91,860	△92,781
その他の包括利益累計額合計	381,230	333,518
新株予約権	15,081	21,266
純資産合計	1,793,347	2,077,689
負債純資産合計	8,585,714	8,526,370

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	6,130,677	6,317,234
売上原価	4,908,258	4,997,013
売上総利益	1,222,418	1,320,220
販売費及び一般管理費	891,687	918,321
営業利益	330,730	401,898
営業外収益		
受取利息	1,443	5,947
受取配当金	612	641
助成金収入	202	—
為替差益	—	84,476
その他	3,852	12,610
営業外収益合計	6,110	103,676
営業外費用		
支払利息	47,101	25,986
新株発行費	100	—
手形売却損	941	75
為替差損	14,876	—
その他	4,462	4,323
営業外費用合計	67,483	30,385
経常利益	269,358	475,189
特別利益		
投資有価証券売却益	—	10,952
特別利益合計	—	10,952
特別損失		
固定資産除却損	499	7,297
特別損失合計	499	7,297
税金等調整前四半期純利益	268,858	478,844
法人税、住民税及び事業税	58,545	132,158
法人税等調整額	△94	20,816
法人税等合計	58,451	152,975
四半期純利益	210,407	325,869
親会社株主に帰属する四半期純利益	210,407	325,869

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	210,407	325,869
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,157	△5,834
為替換算調整勘定	85,276	△40,956
退職給付に係る調整額	△11,105	△920
その他の包括利益合計	73,013	△47,712
四半期包括利益	283,421	278,157
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	283,421	278,157
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	268,858	478,844
減価償却費	165,332	163,813
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,107	△2,753
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	14,203	19,121
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△29,766	△21,663
受取利息及び受取配当金	△2,056	△6,589
支払利息	47,101	25,986
手形売却損	941	75
為替差損益(△は益)	8,160	△1,328
固定資産除却損	499	7,297
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△10,952
売上債権の増減額(△は増加)	196,805	127,467
たな卸資産の増減額(△は増加)	△12,883	△145,000
仕入債務の増減額(△は減少)	86,259	△8,104
その他	30,962	△143,035
小計	772,310	483,178
利息及び配当金の受取額	2,060	11,218
利息の支払額	△54,695	△23,955
手形売却に伴う支払額	△941	△75
法人税等の支払額	△83,711	△85,242
営業活動によるキャッシュ・フロー	635,022	385,123
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△236,147	△178,189
有形固定資産の売却による収入	—	702
無形固定資産の取得による支出	△4,691	△3,637
投資有価証券の取得による支出	△0	—
投資有価証券の売却による収入	—	37,806
貸付金の回収による収入	1,230	40
定期預金の純増減額(△は増加)	164,400	△333,566
敷金及び保証金の差入による支出	△372	△2,302
敷金及び保証金の回収による収入	1,045	55
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74,537	△479,091
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△215,962	△75,000
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△399,751	△100,000
リース債務の返済による支出	△63,478	△26,969
財務活動によるキャッシュ・フロー	△579,191	△201,969
現金及び現金同等物に係る換算差額	20,579	△12,147
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,873	△308,084
現金及び現金同等物の期首残高	996,054	1,200,113
現金及び現金同等物の四半期末残高	997,927	892,028

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追記情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

当連結グループは、温度センサ、電子部品等の製造販売及びこれらに付帯する業務の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

当連結グループは、温度センサ、電子部品等の製造販売及びこれらに付帯する業務の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。